

月曜

宣教学：
日本のキリスト教会の現状とこれから

講師 松谷 信司 (キリスト新聞社)
上中 栄 (日本ホーリネス旗の台教会)
濱野 道雄 (西南学院大学神学部)

講義予定表

- ・前期入学礼拝：4月7日(金)
- ・オープンウィーク：4月10日(月)～4月14日(金)
- ・休講日・祝日：ゴールデンウィーク：4月29日(土)～5月5日(金)・7月17日(月・海の日)
夏期休講：8月1日(火)～8月31日(木)

毎週月曜日 18:30～20:30	学習テーマ及び内容	担当講師
1 4月10日	なぜ教会の敷居は高いのか	松谷信司
2 4月17日	「ハタから」の視点に立ってみる	松谷信司
3 4月24日	教会のチラシ、ホームページを総点検	松谷信司
4 5月8日	オンライン、SNSを活用した広報術	松谷信司
5 5月15日	統一協会問題が投げかけたもの	松谷信司
テキスト：八木谷涼子『もっと教会を行きやすくする本』キリスト新聞社 参考書：松谷信司『宗教改革 2.0へ』ころから		
6 5月22日	「日本のキリスト教史の課題—立ち位置で異なる景色」(ホーリネス史から見る日本の教会の現状とこれから) 正統信仰の系譜をたどりながら、近代市民社会成立以降の教派のあり方と、今日の日本の教会の立ち位置を探る。	上中栄
7 5月29日	「日本社会とキリスト教界—懸命な居場所探し」(ホーリネス史から見る日本の教会の現状とこれから) 戦前の宗教行政と、教会が直面した課題の一つである神社問題を通して、日本社会の宗教性と教会の関係を考える。	上中栄
8 6月5日	「日本のキリスト教界の教派—みんなで渡った赤信号」(ホーリネス史から見る日本の教会の現状とこれから) 日本プロテスタント史の最大イベントである、日本基督教団の成立過程から、日本の教会の性格について考える。	上中栄
9 6月12日	「戦争・公権力・市民社会・教会(1)—なかなか怖い近所付き合い」(ホーリネス史から見る日本の教会の現状とこれから) 太平洋戦争開戦直後に起きた、小山宗祐牧師補の自殺事件から、「戦時下」の日本社会と教会について考える。	上中栄
10 6月19日	「戦争・公権力・市民社会・教会(2)—容赦なく暴かれる建前と本音」(ホーリネス史から見る日本の教会の現状とこれから) いわゆるホーリネス弾圧から、公権力とキリスト教界の関係について考える。	上中栄
11 6月26日	教勢の現状から見えてくること	濱野道雄
12 7月3日	どこで誰と宣教するのか (Spiritual but Not Religiousの時代に共同体を見直す)	濱野道雄
13 7月10日	なぜ宣教するのか (ポストコロナ時代のエマージングチャーチといくつかの教会論)	濱野道雄
14 7月24日	どのように宣教するのか (信徒の教会を目指して)	濱野道雄
15 7月31日	これから、何を宣教として行うのか (まとめとディスカッション)	濱野道雄

テキスト：特にありません。 参考書(濱野担当回)：適宜紹介します。

木曜

新約釈義：マルコによる福音書を読む

講師 森 淳一

毎週木曜日 18:30～20:30	学習テーマ及び内容
1 4月13日	オリエンテーション 神のよき知らせに生かされて マルコ1章1～8節
2 4月20日	主イエスが必要としてくださるから マルコ2章13～17節
3 4月27日	いのちを見つめるイエス マルコ3章1～6節
4 5月11日	一人のひとのために マルコ5章1～20節
5 5月18日	主イエスにつなげられて マルコ6章30～44節
6 5月25日	主イエスが新しく生きられるから マルコ7章24～30節
7 6月1日	あなたは、わたしを何者だと言うのか? マルコ8章27～30節
8 6月8日	信仰のないわたしをお助けください マルコ9章14～29節
9 6月15日	繰り返しの恵み マルコ10章32～34節
10 6月22日	イエスを主としてお迎えする マルコ11章12～25節
11 6月29日	春に、いのちの主を思う マルコ12章18～27節
12 7月6日	神さまだけが知っておられる マルコ13章32～37節
13 7月13日	驚くべき神の恵み マルコ14章66～72節
14 7月20日	沈黙のイエス マルコ15章1～20節
15 7月27日	行き止まりのその先は? マルコ16章1～8節

テキスト

テキスト：『新共同訳聖書』
参考書：『聖書教育』2018年1・2・3月号
『聖書教育』2022年1・2・3月号 『聖書教育』2022年4・5・6月号

後援会の会費が **月々500円から** ご支援いただけるようになりました。



ホームページの「後援会月々支援」のページで、クレジットカードを使ってご支援いただけます。
スマホやタブレットからもお手続きができますので、ぜひ皆様のお祈りとご支援をお待ちしています。

◀ **今すぐアクセス!** <https://tbts.jp/online-shien/> (後援会月々支援ページ)

金曜

新しい聖書の学び：

イエス時代と最初期クリスチャン時代の背景を学んで聖書を読む

講師 山口 里子

毎週金曜日 18:30~20:30	学習テーマ及び内容	
1	4月14日	オリエンテーション：クラス紹介、コース紹介など。
2	4月21日	序章：過去を見直して現在の変革へ。
3	4月28日	第1章：キリスト教の歴史を眺める新しい方法。
4	5月12日	第2章：第1世紀ユダヤ女性・男性の日常生活（1）
5	5月19日	第2章：第1世紀ユダヤ女性・男性の日常生活（2）
6	5月26日	第3章：神々と宗教指導者
7	6月2日	第4章：預言者と1人称の啓示
8	6月9日	第5章：癒しと「しるし」行為
9	6月16日	第6章：ストーリーテリングと伝承形成
10	6月23日	第7章：迫害と父権制化
11	6月30日	第8章：話と登場人物（1）
12	7月7日	第8章：話と登場人物（2）
13	7月14日	第9章：話の世界の民族性・階級・ジェンダー
14	7月21日	第10章：マルタとマリア、そして今日のクリスチャン女性・男性たち
15	7月28日	まとめのQ&R

テキスト

山口里子『マルタとマリア：イエスの世界の女性たち』（新教出版社、2004年）

事務局より

この講座では山口里子講師による講義時間は90分となります。講義後、休憩10分、Zoom機能を用いた小グループでのディスカッション20分、という形式で進められます。この授業形式をご了承のうえ、受講していただきますようお願いいたします。なお、講師への質問や感想は、事務局経由で毎週行うことができます。

参加費（1講座につき）

● 一般の方(及び聴講生)：受講料 30,000 円 ● 本科生：受講料 25,000 円

*通信受講は+5,000円の通理事務費が必要です。

*なお、卒業生・後援会会員・連盟加盟教会牧師・理事・教師の受講料は半額(15,000円)です。

● 後援会受講：受講料 17,500 円(通理事務費含む、但し単位取得はできません)

*後援会会員になるためには「年会費 5,000 円」が必要です。

教会共同受講・参加費

● 受講料 15,000円 + 後援会年会費 5,000円(牧師・主事・卒業生は免除)

*教会共同受講は原則2名以上です(通理事務費免除)。受講は公開講座に限ります。



東京バプテスト神学校

2023年度

前期公開講座

月曜

宣教学：

日本のキリスト教会の現状とこれから

松谷 信司 (キリスト新聞社)

講師 上中 栄 (日本ホーリネス旗の台教会)

濱野 道雄 (西南学院大学神学部)

● 第1～5回：松谷信司講師

「教会はもはや限界集落」「牧師も神父もなり手がいない」「敬虔なクリスチャン、など絶滅危惧種」—そんな声がささやかれる現代ニッポンの教会事情。目を背けたくなる現実を前に、私たちはとすると「愛」と「奉仕」と「献身」を口実に思考停止に陥りがちです。本講義では正しい現状認識と危機意識の共有から始め、既存の教会が直面する制度疲労と現実との乖離に向き合い、具体的な事例をもとに改善策を考えます。キーワードは「開かれた教会」と「ハタからの視点」。コロナ禍で一変した社会状況の中で、地域社会に必要とされる存在となるために、私たちには何が必要か。少し視点を変えるだけで可能性は大きく広がるはず。これまでの発想を転換し、持続可能な教会

様式を模索するためのヒントが見出せることを願っています。

● 第6～10回：上中栄講師

人は「現在」の危機に直面した時、「未来」に向かって進みだすために、「過去」を振り返る、と言います。本講座では、「日本のキリスト教会の現状とこれから」を考えにあたり、ホーリネスの視点から歴史を振り返ります。ホーリネスは、日本のキリスト教界では主流ではありませんが、ホーリネス史を軸に日本のキリスト教史をながめてみると、また違った景色が見えて来るといいます。特に戦前の教会が翻弄された諸問題、戦時下の治安維持法違反に問われたホーリネス弾圧などからは、日本社会の特性や日本の教会のウィークポイントなど、今日の私たちにも通じる課題が浮

かび上がってきます。私たちは何を継承し、何を克服しなければならないのか、共に考えてみたいと思います。

● 第11～15回：濱野道雄講師

コロナにより加速され、日本の教会も北半球の教会同様、大きな曲がり角にいます。まず日本バプテスト連盟内外の教勢分析を通し量的質的变化の要因を考えます。そして信仰はあっても教会を離れる時代に教会が変わるならどう変わるか、またアメリカのいくつかの教会論の変遷から今求められる教会論を考え、牧師以外の「信徒の教会」をいかに形成できるか考え、最後に実際に何を行うのかディスカッションをします。

木曜

新約釈義：マルコによる福音書を読む

講師 森 淳一

この講座は「公開講座」ですので、神学校に在籍されている方々はもちろんのこと、それぞれの学びのために信徒の皆さんにも、ぜひ受講していただければと願っています。普段、それぞれの教会で、教会学校の学びに参加しておられる皆さんのことをイメージしながら授業の備えをしています。講座の内容としては、入門的な要素を意識して、聖書箇所を細かく注解的に学んでいくのではなく、信徒の皆さんが少しでも親しみやすくマルコによる福音書を読んでいくことができるように授業を行っていきたく思います。

この講座を通して、各人がマルコによる福音書から黙想をして、自分へのメッセージを受けていくこと、また、お互いが受けたメッセージを聴き合いながら、学びを深めていきたいと思えます。また、神学校に在籍の皆さんにとっても、マルコによる福音書から何を神の言葉として聴き取るのか？み言葉の取り次ぎのための学びの一つになれば幸いです。ご一緒に、マルコによる福音書を読んでいきましょう。

金曜

新しい聖書の学び：

イエス時代と最初期クリスチャン時代の背景を学んで聖書を読む

講師 山口 里子

聖書のお話を読む時、そこに登場する人々を、皆さんはどのように想像するでしょう？紀元1世紀、人々はどういう世界に生き、どのような家に住み、どのような仕事をして、どのような物を食べて生活していたでしょうか？考古学・人類学などの情報を活用する新しい聖書学の成果を用いて、人口の90%以上の貧しい庶民たちに「歴史的想像力」を広げて、そして特に見えなくさ

れた女性たちにも注意を向けて学ぶと、聖書の話が新しい印象で迫ってきます。この講座では、そういう聖書の背景世界を学んで、最後にマルタとマリアの話を一例として読み直します。こういう新しい聖書の学びを、率直な質問・意見を分かち合いながら、ご一緒に楽しく学びましょう。

申込締切日 2023年4月3日(月)

お問合せ

〒112-0012 東京都文京区大塚1-1-18 東京バプテスト神学校事務局(茗荷谷キリスト教会3階)

● TEL.03-3947-5141 ● FAX.03-3947-5145 ● E-mail seminary@tbts.jp